

令和元年定例会 12 月定期議会
産業建設常任委員会調査報告書

令和元年 12 月 19 日

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和元年 9 月 6 日～12 月 5 日

日時	活動区分	内 容	頁
9. 6 (金)	協 議	■ 9 月定期議会中における調査事項について ■ 決算審査特別委員会における委員長の選任について 〔参加者〕 氏家委員長ほか委員 6 名	—
9. 11 (水) 10:00～16:00	所管事務調査① (議案調査)	《建設部》 ■ 登米市下水道事業に係る地方公営企業法の規定の全部の適用及び水道事業との組織統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について ■ 一般会計補正予算について ■ 下水道事業特別会計補正予算について 《産業経済部》 ■ 株式会社とよま振興公社の経営状況について ■ 株式会社いしこしの経営状況について ■ 財産の処分について ■ 一般会計補正予算について ■ 放射能汚染の農林業系廃棄物の状況について 〔参加者〕 氏家委員長ほか委員 7 名 建設部 千葉部長ほか 12 名 産業経済部 阿部部長ほか 9 名	—
9. 17 (火) 9:30～16:00	所管事務調査② (議案調査) (現地調査)	《農業委員会事務局》 ■ 一般会計補正予算について ■ 所管事業の平成 30 年度決算について 《建設部》 ■ 所管事業の平成 30 年度決算について ■ 「一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に関する要望書」の現状把握 ① 南沢川・北沢川改修要望箇所 ② 県道北上津山線道路整備箇所 ③ 横山久保地区の排水施設 〔参加者〕 氏家委員長ほか委員 6 名 農業委員会事務局 田辺局長ほか 1 名 建設部 千葉部長ほか 9 名	4

日時	活動区分	内 容	頁
9.19(木) 10:00～15:40	所管事務調査③ (議案調査)	《産業経済部》 ■平成30年度担い手農地集積推進支援事業補助金の未執行について ■所管事業の平成30年度決算について ■立地協定式について 〔参加者〕 氏家委員長ほか委員6名 産業経済部 阿部部長ほか9名	—
10.21(月) 13:00～16:10	所管事務調査④ (現地調査) 協 議	■台風19号に伴う被害状況の把握 ・水田の稲わら堆積 ・市道及び農地の法面崩れ ・国・県・市道の状況 ・道の駅津山の状況 ・南沢川・北沢川の状況 〔参加者〕 氏家委員長ほか委員4名	6
11.1(金) 13:00～17:30	意見交換会	■登米市産業振興会との意見交換会 〔参加者〕 氏家委員長ほか委員7名 産業経済部 櫻課長ほか3名	8

産業建設常任委員会 活動概要

【所管事務調査②】

1. 期 間：令和元年 9 月 17 日(火) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分

2. 場 所：津山町横山地内

3. 事 件

＜建設部＞

「一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に関する要望書」
の現状把握

(現地調査)

①南沢川・北沢川改修要望箇所

②県道北上津山線道路整備箇所

③横山久保地区の排水施設

4. 参 加 者：委員長 氏家英人、

委 員 上野晃、關孝、浅田修、及川長太郎

(建 設 部) 建設部長 千葉清、建設部次長 菅原和夫、土木管理課長 伊藤勝、
道路課長 星洋徳、用地専門監 須田英樹、

住宅都市整備課長 千葉伸一、まちづくり専門監 阿部信広、

営繕課長 佐々木桂、下水道課長 千葉智博、

土木管理課課長補佐 三浦訓徳、

下水道課課長補佐兼事業管理係長 津藤順、

下水道課課長補佐兼施設整備係長 佐々木昭彦

(県東部土木事務所) 登米地域事務所次長(総括) 佐藤剛、

技術次長(道路建設第一班長) 齋藤裕二

(津山総合支所) 支所長 佐藤貞光、市民課長 佐々木勝彦

(議会事務局) 主幹兼係長 千葉敬子

5. 概 要：(別紙のとおり)

■「一級河川南沢川・北沢川の改修、県道北上津山線道路整備に関する要望書」の現状把握について

○概 要

8月7日、横山地区災害から人命財産を守る会（会長 西條清貴）から提出された要望書の内容について、改修事業の進捗と現状を把握するため現地を調査した。

一級河川南沢川・北沢川の改修県道北上津山線道路整備に関する要望書

登米市津山町横山地区は、これまで台風などの豪雨によりたびたび冠水や土砂崩れなど被害が発生している。毎年、全国各地で総雨量 500 ミリなどの豪雨が発生し甚大な被害が発生している状況を踏まえ、河川の早急な改修、県道の整備、そして砂防施設や排水施設の整備が地域としての喫緊の課題となっている。

ついては、住民の安心、安全の確保、並びに生命・財産を守るため、下記の事項についての整備促進、早期実施が図られるよう要望するもの。

1. 一級河川南沢川・北沢川の早期改修、並びに定期的な河床浚渫、支障木除去の実施、併せて県営津山地区ほ場整備事業で創設した南沢川堤防の改修促進
2. 県道北上津山線の国道 45 号交差部の早期整備
3. 津山町横山字久保地区の排水施設の早期整備

宮城県管理である一級河川南沢川・北沢川及び県道北上津山線については、県において年次計画が立てられ、河川改修や道路整備が進められている。

南沢川

家屋浸水発生区域の治水安全度の向上と洪水被害の軽減を図るため、築堤、河川掘削により安全な流加能力を確保する工事を行っている。

令和元年度は、河道掘削工事 80m が予定されている。

県道北上津山線

平成 20 年度から整備が始まり、平成 30 年度末進捗率 30%。

地域の一番の心配事である「水害」を防ぎ、住民の利便性と安全な通行を確保するため、河川と道路の一体整備を進めている。

令和元年度は南沢川の整備を優先、道路整備は休止中。

【所管事務調査④】

1. 期 間：令和元年 10 月 21 日(月) 午後 1 時～午後 4 時 10 分

2. 場 所：市内現地

3. 事 件

(現地調査)「台風 19 号に伴う被害状況の把握」

- ・ 水田の稲わら堆積
- ・ 市道及び農地の法面崩れ
- ・ 国・県・市道の状況
- ・ 道の駅津山の状況
- ・ 北沢川・南沢川の状況

4. 参 加 者：委員長 氏家英人、

委 員 上野晃、關孝、浅田修、及川長太郎

(議会事務局) 主幹兼係長 千葉敬子

5. 概 要：(別紙のとおり)

■台風 19 号に伴う被害状況の把握

○概 要

台風 19 号の大雨による被害状況について、現地調査を行った。迫町及び南方町では、水田の稲わら堆積状況、米山町では市道や農地の法面崩れ、津山町では、国道 45 号線や南沢川・北沢川、道の駅津山の状況を確認した。

横山地域では、地域住民からの災害発生当時の様子を伺い、生活再建に向けた要望を聴取した。

その後、委員間討議を行い、産業建設常任委員会として、被害状況、市へ要望・提言する内容を整理した。



田んぼに大量の稲わらが堆積



排水機場でも稲わら除去



市道法面が農地に流入



南沢川越水で施設下を水が流れたもくもくハウス



もくもくハウス裏仮橋に流木堆積



横山久保地区で被災状況を聴き取り

(委員間討議において、早急な市の対応が求められとされたもの)

- ・ 早急な稲わら処理方針の提示と迅速な処理
- ・ 国道 45 号及び南沢川・北沢川の復旧と安全確保
- ・ 市道の被害確認と通行の安全確保
- ・ 道の駅津山の復旧
- ・ 佐沼地区の内水対策
- ・ 災害ゴミ受け入れの柔軟な対応
- ・ 災害時の買い物支援

なお、常任委員会の調査内容及び要望・提言内容については、市議会災害対策連絡会議（10 月 28 日開催）で報告。議会から市長へ要望書を提出することになり、11 月 1 日熊谷市長へ要望書を提出した。

【産業建設常任委員会所管の要望事項】

- ・ 農地等に堆積した稲わらの処理について
- ・ 市内一級河川及び国道45号の復旧と安全確保について

【意見交換会】

1. 日 時：令和元年 11 月 1 日(金) 午後 1 時～午後 5 時 30 分
2. 場 所：エスビー食品（株）宮城工場、（株）登米村田製作所、
ホテルサンシャイン佐沼
3. 事 件：登米市産業振興会との意見交換会
4. 参 加 者：委員長 氏家英人、副委員長 熊谷和弘、
委 員 上野晃、關孝、浅田修、相澤吉悦、熊谷憲雄、及川長太郎

登米市産業振興会
会長 後藤康治、副会長 山田正、伊藤秀雄、外 会員 15 名

(産業経済部) 工業振興課課長 櫻節郎、工業振興課課長補佐 衣川智博、
工業振興課主事 浅田勝彦、主事 大立目美雪

(議会事務局) 主幹兼係長 千葉敬子
5. 概 要：(別紙のとおり)
6. 所 見：(別紙のとおり)

■登米市産業振興会との意見交換会

○概 要

登米市産業振興会は、本市内における企業が、業種、企業規模を超えて相互の理解と共通の受益を目指し、地域産業の活性化と健全な発展に寄与することを目的として平成18年6月7日に設立。会員企業数83社、事務局は産業経済部工業振興課である。

登米市産業振興会との市内企業訪問と意見交換会は、市内企業の現状と課題について共有し、議会や常任委員会活動について相互理解を深め、企業活動の活性化と地域経済の発展に寄与することを目的に、平成25年度から毎年行われている。

今年度は、エスビー食品（株）宮城工場と（株）登米村田製作所の工場見学を行い、その後、ホテルサンシャイン佐沼にて下記のテーマについて意見交換会を実施した。登米市の産業振興について、会員と委員とで、活発に意見が交わされた。



エスビー食品（株）宮城工場



（株）村田製作所



登米市産業振興会との意見交換

テーマ① ▶▶▶ 市内企業への防災ラジオ設置について

《主な意見》 従業員の命を預かっている立場から、避難や帰宅指示などの判断、情報提供に必要。貸与ではなく、有償でも構わないので配布されたい。

テーマ② ▶▶▶ 公有財産（遊休財産）の活用について

《主な意見》 インターネットから登米市の物件がヒットし難いので、検索方法の工夫が必要では。

公有財産の個別計画を公開するとともに、売却情報などは金融機関や不動産会社に積極的に情報を提示すべきでは。

テーマ③ ▶▶▶ 若者の定住について

《主な意見》 若者が「登米市で頑張っていこう！」と思えるような仕事がない。企業誘致はクリエイティブな業種などを呼び込む工夫も必要では。

市の移住・定住政策の効果はどうなっているのかを知りたい。

○所 見

工場見学では、2社ともに近代的かつ衛生的であり、従業員も働き甲斐を感じながら仕事をしているように感じた。

意見交換では、企業側から災害時における従業員の安全確保について、緊急告知ラジオの配布（有償でも可）を求められた。現在、緊急告知ラジオの在庫は6,000個であるが、配布済の一般住宅（24,000個）のみならず、会社や店舗、企業などにも活用されるよう考えられたい。

公有財産の活用については、事業拡大、企業誘致につながるようネット検索でヒットしやすいよう工夫が必要。また、今後、公共施設の個別計画ができれば公表すべきである。

若者の定住については、地元に残れるよう企業誘致は必要だが、特に高学歴（大卒など）時代にマッチした職種の企業誘致も必要。また、本市には若者のニーズにマッチしている事務系、プログラマー、クリエイターやゲームプログラマーなどの業種が少ないのも若者流出の要因のひとつだと考える。人口減少対策としての現行の移住・定住政策やシティプロモーション事業のみならず、多様なニーズに応えられるような企業誘致政策を考えられたい。